

頁, 2025.

- 20) 遠藤 愛, 土門久哲, 滝澤史雄, 平山 悟, 牛田晃臣, 吉田明弘, 寺尾 豊, 多部田康一: 口腔細菌およびその病原因子に対するオゾンナノ水の作用解析. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 16 日, プログラムおよび講演抄録集: 31 頁, 2025.
- 21) 植田優太, 高橋直紀, 都野隆博, 永田昌毅, 本杉駿弥, 山田 葵, Tran Diep, Tran Khoa, 小林航大, 馬場水彩妃, 原 実生, 多部田康一: 各種人工足場材料に対するヒト培養骨膜細胞の生物学的応答性の解析. 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集: 139 頁, 2025.
- 22) 馬場水彩妃, 原 実生, 都野隆博, 峯尾修平, 本杉駿弥, 植田優太, 小林航大, 高橋直紀, 多部田康一: 歯周病原細菌の気管内噴霧投与による肺炎誘導能の検討. 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集: 154 頁, 2025.
- 23) Koushi Hidaka, Yasumitsu Sakamoto, Mizuki Sekiya, Yukari Nonaka, Koichi Tabeta, Akihiro Nakamura, Wataru Ogasawara: Antibacterial activity and toxicity evaluation of dipeptide analogs targeting *Porphyromonas gingivalis* DPP7. 第 62 回ペプチド討論会, 福岡, 2025 年 10 月 21~23 日, プログラムおよび講演抄録集: 10 頁, 2025.
- 24) 瀧川ほのか, 佐藤圭祐, 多部田康一: 歯周外科治療における予防的抗菌薬適正使用の検討, 令和 7 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2025 年 11 月 8 日, プログラムおよび講演抄録集: 11 頁, 2025.

【受賞】

- 1) Nasu Y, Terunuma M: Regulatory mechanism of astrocytic glutamine synthetase expression via Hippo-YAP pathway. JSNP Excellent Presentation Award, CINP-AsCNP 2025 Joint Congress, Melbourne, Australia, June 17, 2025.
- 2) 中島麻由佳: Backpack-carrying macrophage immunotherapy for periodontitis. (Journal of Controlled Release 377: 315-323, 2025), IADR Women in Science Network Distinguished Research Award, 2025 年 6 月 26 日.
- 3) 滝澤史雄: ウルトラファインバブル技術を応用した新規消毒液の開発と作用解析. 新潟歯学会奨励賞, 令和 7 年度新潟歯学会第 58 回総会, 2025 年 4 月 12 日.
- 4) 植田優太: Optical Coherence Tomography を用いた培

養骨膜シートの厚みと骨形成能の関連性の検討. 歯周組織再生医学優秀発表賞(KAKEN Award), 第 68 回春季日本歯周病学会学術大会, 那覇, 2025 年 5 月 23 日.

- 5) Yan Chunyang: Choline and Geranate Ionic Liquid for Subgingival Biofilm Control. (International Journal of Pharmaceutics 662: 124544, 2024), 新潟大学学生優秀論文賞, 2025 年 8 月 7 日.
- 6) 中島麻由佳: Backpack-carrying macrophage immunotherapy for periodontitis. (Journal of Controlled Release 377: 315-323, 2025), 令和 7 年度 (第 12 回) 新潟大学学長賞 (若手教員研究奨励), 2025 年 10 月 3 日.

【その他】

- 1) 多部田康一: 歯周病の感染制御を目指したモダリティ開発. 大阪大学大学院セミナー, 大阪, 2025 年 7 月 10 日.
- 2) 多部田康一: 歯周医学: 研究, 臨床におけるエビデンスの理解. 大阪大学特別講義, 大阪, 2025 年 7 月 10 日.
- 3) 多部田康一: 新潟大学医歯学総合病院歯科の現状と展望. 新潟大学歯学部創立 60 周年記念事業, 新潟, 2025 年 11 月 1 日.
- 4) 田村 光: サイトカインストーム制御分子の検索と作用機構解明. 第 7 回オーラルサイエンス研究会, 新潟, 2025 年 11 月 9 日.
- 5) 柳川万由子: イオン液体 (IL) を用いた歯周塗布薬の開発研究. 博士学生支援プログラムシンポジウム (次世代プロジェクト事業報告会), 新潟, 2026 年 3 月 11 日.
- 6) 小泉瑠果: 共生細菌を用いた感染制御の介入による歯周病治療研究. 博士学生支援プログラムシンポジウム (次世代プロジェクト事業報告会), 新潟, 2026 年 3 月 11 日.

歯科矯正学分野

【著書】

なし.

【論文】

- 1) 丹原 惇, 高橋功次郎, 大森裕子, 大川加奈子: (総説) 歯科矯正学の現在地. 新潟歯学会誌 55(2): 1-10. 2025
- 2) Atarashi C, Osawa K, Saito D, Nishiyama H, Tomihara K, Saito I, Nihara J: Three-dimensional analysis of

maxillary asymmetry in patients with mandibular prognathism. *Maxillofac Plast Reconstr Sur*, in press, 2026.

- 3) Zhuoyang Zheng, Daisuke Saito, Daichi Hasebe, Akinori Funayama, Jun Nihara, Tadaharu Kobayashi: Three-dimensional evaluation of maxillofacial symmetry improvement following orthognathic surgery in patients with asymmetrical jaw deformities. *Oral and Maxillofacial Surgery*, 29(1), 2025.
- 4) Finsa Tisna Sari, Maiko Kawasaki, Katsushige Kawasaki, Vanessa Utama, Alex Kesuma, Makoto Fukushima, Takehisa Kudo, Akira Fujita, Kaya Ichikawa, Yurie Sato-Yamada, Ippei Shimizu, Tohru Minamino, Jun Nihara, Atsushi Ohazama: Senescence in palatal rugae development. *Journal of Oral Biosciences*. 67(4),2025
- 5) Kawasaki Katsushige, Kawasaki Maiko, Sari Finsa Tisna, Utama Vanessa, Kesuma Alex, Fukushima Makoto, Saito Naoaki, Suda Daisuke, Kudo Takehisa, Fujita Akira, Nihara Jun, Franco Brunella, Ohazama Atsushi: Early increased cell proliferation compensates subsequent hypoplasia of the ossicle. *Frontiers in Cell and Developmental Biology*. 13, 2025
- 6) 上村藍太郎, 高橋功次朗, 齋藤大輔, 小林正治, 丹原 惇. 脊髄小脳変性症を伴う Angle ClassIII骨格性下顎前突症例に対して外科的矯正治療を行った1例. *日本顎変形症学会雑誌*. 35(3): 235-245, 2025.
- 7) Meguro F, Kawasaki K, Kakihara Y, Kawasaki M, Fukushima M, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Nihara J, Kudo T, Fujita A, Ichikawa K, Osawa K, Maeda T, Tabeta K, Saeki M, Ohazama A : DNA repair during embryonic epidermal stratification. *Dev Dyn*. 2025
- 8) Masaki Kasahara, Daichi Hasebe, Daisuke Suda, Hidenobu Sakuma, Naoaki Saito, Daisuke Saito, Jun Nihara, Tadaharu Kobayashi: Stability of the maxilla and mandible in patients with dentofacial deformities after multi-segmental Le Fort I osteotomy combined with sagittal split ramus osteotomy. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*,37(3), 475-479,2025.

【商業誌】

- 1) 須佐美隆史, 齋藤 功, 朝日藤寿一, 丹原 惇: 口唇裂・口蓋裂患者に対する最新治療 口唇裂・口蓋裂治療に関する多施設共同研究 世界の流れと日

本の現状, *矯正臨床ジャーナル*, 41(9) 37-54, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 三村俊平: アプリケーションを用いた「骨格性下顎前突症患者における咀嚼様相」の定量的解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 25K20364, 2025.
- 2) 岩間 基: Wnt シグナルが加齢マウスにおける矯正学的歯の移動に及ぼす影響の解析. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20430, 2025.
- 3) 小川卓也, 森山啓司, 井関祥子, 土谷 忍, 丹原惇, 須田直人, 藤原琢也, 黒坂 寛, 早野 暁, 川元龍夫: 頭蓋顎顔面先天異常レジストリを活用した希少遺伝性疾患研究の基盤構築. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(B), 25K02831, 2025.
- 4) (継続分) 丹原 惇, 大峯 淳, 川崎真依子: 組織幹細胞の恒常性メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 24K13064, 2024.
- 5) (継続分) 大川加奈子: 舌圧と口蓋形態を指標とした骨格性開咬症の新たな機能的形態的特徴の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20075, 2024.
- 6) (継続分) 工藤武久: 分子シャペロンの顎顔面形成における役割の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20025, 2024.
- 7) (継続分) 新井萌生: 加齢を伴う SPARC-KO マウスの歯根膜組織の解析. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20054, 2024.
- 8) (継続分) 藤田 瑛, 大峯 淳, 川崎真依子: 舌小帯の発生機構の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 24K13109, 2024.
- 9) (継続分) 松下佳代, 小野和宏, 齋藤有吾, 伊藤通子, 平山朋子, 丹原 惇, 杉山芳生, 田中孝平: コンピテンシーの形成・評価の検討—統合性・分野固有性・エージェンシーに着目して—. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(B), 23K22236, 2023.
- 10) (継続分) 笠原群生, 岡 明, 田倉智之, 丹原惇, 廣瀬尚人, 渡邊佳一郎, 仁科幸子 (蓮江幸子), 守本倫子, 平田康隆, 今井啓道, 杠 俊介, 依田哲也, 彦坂 信, 関 敦仁, 江口佳孝, 高木岳彦, 石丸哲也, 下島直樹, 鎌田将史, 梅田千鶴, 森田圭一, 原園陽介, 浦田 晋, 吉田朋世, 鈴木法臣, 野田龍也, 竹原健二, 盛一享徳, 育成

医療対象疾患の実態把握に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金, 202417020A, 2024.

- 11) (延長分) 上村藍太郎: 内因性カンナビノイド機構によるグリア機能の調節が関わる痛みの脳内制御機構の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 23K16110, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 丹原 惇: (教授就任講演) 矯正学と矯正臨床ーその現況と展望ー. 令和7年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2025年11月8日, 新潟歯学会誌, 55(2):26.
- 2) Nihara J: Beyond the Soft Tissue Paradigm - Evaluation of perioral soft tissue properties-. 10th International Orthodontic Congress, Rio De Janeiro, 23 October 2025, Online abstract
"https://wfo2025rio.org/class/91A75D75-6238-4F75-8F7B-76BB7611F3C3", 2025.
- 3) 丹原 惇: 口唇裂・口蓋裂治療における成長後を見据えた“final touchups”のあり方ー成長発育と咬合の関係性に着目してー. 第84回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2025年9月29日~10月1日, 同学会学術大会プログラム・抄録集:100頁, 2025.
- 4) 大川加奈子: 卒後矯正臨床教育におけるエッジワイズの主体的学修を目指した新潟大学の取り組み. 第40回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2025年6月29日, 抄録集: 24-25頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Hoang Kim Cuc, Takahiro Yamada, Kojiro Takahashi, Yuko Oomori, Jun Nihara: Presurgical Orthodontic Effects on Curve of Spee in Skeletal Class III Patients. The 2026 IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition (104th General Session & Exhibition of the IADR, 55th Annual Meeting & Exhibition of the AADOCR, 50th Annual Meeting of the CADR), San Diego, 25-28 March 2026, online abstract
"https://epro02.ativ.me/web/planner.php?id=IADR26", 2026.
- 2) Takahiro Yamada, Jun Nihara: Morphological Changes in the Temporomandibular Joint after Orthognathic Surgery in Mandibular Prognathism with Jaw Deviation. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, Malaysia, 8-9 February 2026. Program book p89, 2026.

- 3) Hoang Kim Cuc, Jun Nihara : Curve of Spee and Mandibular Tooth Movement in Class III Orthodontic Surgery Patients: A Cephalometric Analysis. The 38th Annual Meeting of TAO, Tainan, 6-7 December 2025, online abstract
"https://www.taoannualmeeting.com/data/editor/files/2025%20tao_e-poster.pdf", 2025.
- 4) 大川 加奈子, 大川 純平, 堀 一浩, 丹原 惇: 舌圧および口唇・頬圧の同時測定による嚥下運動解析法の有用性. 第84回日本矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2025年9月29日~10月1日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 165頁, 2025.
- 5) 三村俊平, 大川加奈子, 長崎 司, 新井萌生, 吉田智美, 山田貴大, 松田拓樹, 竹内涼子, 佐久間英伸, 長谷部大地, 富原 圭, 堀 一浩, 丹原 惇: 顎変形症患者における咀嚼能力測定用グミゼリーを用いた咀嚼機能の定量的比較. 第35回日本顎変形症学会総会・学術大会, 北九州, 2025年6月5日~6日, 日顎変形誌 35(2): 138頁, 2025.
- 6) 三村俊平, 丹原 惇: 上顎左側側切歯・犬歯間の水平埋伏過剰歯を伴う Angle Class I 叢生症例. 第40回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2025年6月29日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 45頁, 2025.
- 7) 大湊 麗, 若槻華子, 宮田昌幸, 小林亮太, 児玉泰光, 佐藤真由美, 井村真美, 市川佳弥, 富原圭, 小野和宏: 一段階法と二段階法における乳幼児期の口腔機能と言語発達の検討. 第49回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2025年10月23日~24日, 日口蓋誌 50(2): 107頁, 2025.
- 8) 小林亮太, 児玉泰光, 大湊 麗, 丹原 惇, 若槻華子, 宮田昌幸, 富原 圭: 軟口蓋に浸潤したリンパ管腫を併発した軟口蓋裂患児に対するスピーチエイドによる構音獲得の試み. 第49回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2025年10月23日~24日, 日口蓋誌 50(2): 115頁, 2025.
- 9) 竹内涼子, 齋藤大輔, 市川佳弥, 丹原 惇, 新美奏恵: 上下顎骨移動術を施行した口蓋裂患者における顎骨安定性の検討. 第49回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2025年10月23日~24日, 日口蓋誌 50(2): 134頁, 2025.
- 10) 小川卓也, 早野 暁, 上岡 寛, 土谷 忍, 五十嵐 薫, 黒坂 寛, 山城 隆, 丹原 惇, 郡司掛香織, 川元龍夫, 藤原琢也, 宮澤 健, 佐藤嘉晃, 須田直人, 森山啓司: 矯正歯科における遺伝性疾患の保険適用に関する実態調査 患者レジストリによる多施設調査. 第49回日本口蓋裂学会総会・

学術集会, 京都, 2025年10月23日~24日, 日口蓋誌 50(2): 145頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) 丹原 惇: 一般歯科医の先生方に知っていただきたい矯正歯科治療における近年のトレンドとその留意点. 令和7年度第3回会津方部歯学研究会, 会津若松, 2025年8月23日.

【受賞】

- 1) Kurihara-Okawa K, Okawa J, Nihara J, Takahashi K, Hori K, Nagasaki T, Fukui T, Ono T, Saito I: Tongue pressure production and orofacial muscle activities during swallowing are related to palatal morphology in individuals with normal occlusion. *Clin Invest Orthod* 83(2): 61-69, 2024. 2025年度第9回日本矯正歯科学会論文賞.

【その他】

- 1) 丹原 惇: 新潟大学医歯学総合病院における口唇裂・口蓋裂治療と多機関共同研究への取り組み. 岡山大学病院口唇裂・口蓋裂総合治療センター講演会, 岡山, 2026年3月19日.
- 2) 丹原 惇: シンポジウム「対話型論証は授業と学生の学びをどう変えるか—高校・大学での取組から—」, 東京, 2026年2月22日, "https://shibuya-pxu.tcu.ac.jp/archives/イベント・公開講座/0407_1856/", 2026.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 伊藤加代子, 井上 誠: 第3章更年期・老年期 ドライマウス, 女性外来診療(寺内公一編), p377-380, 株式会社診断と治療社, 東京, 2025.
- 2) 伊藤加代子: CQ108 舌痛症に対しHRTは有効か?, ホルモン補充療法ガイドライン 2025年度版(日本女性医学会編集, 監修), p118-119, 金原出版株式会社, 東京, 2025.
- 3) 井上 誠: II 摂食嚥下にかかわる機能(生理). 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第3版(公益社団法人日本歯科衛生士会監修), p43-55, 医歯薬出版, 東京, 2025.
- 4) 井上 誠: 2. 口腔機能にかかる生理. 口腔リハビリテーション学(覚道健治, 井上 誠, 菊谷 武, 阪井丘芳, 松香芳三編), p32-47, 永末書店, 東京, 2025.

- 5) 井上 誠: 11.表面筋電図. 最新版! 摂食嚥下機能評価—スクリーニングから臨床研究まで, *JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION* 第34巻第4号, p398-405, 医歯薬出版, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Taku Suzuki, Hiroshi Hasegawa, Tetsuo Akimoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Swallowing safety in an older patient with tongue and pharyngeal morphological variations. *Dysphagia Online* ahead of print, doi: 10.1007/s00455-025-10921-4. 2026.
- 2) Jin Magara, Taku Suzuki, Midori Yoshihara, Wakana Onuki, Anna Sasa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Lingual pressure as a physiological indicator for dysphagia in amyotrophic lateral sclerosis and multiple system atrophy. *Neurodegener Dis Manag* 1-10. Online ahead of print, doi: 10.1080/17582024.2025.2580876. 2025.
- 3) Brendan J Canning, Midori Yoshihara, Nanako Mori, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue, Sonya Meeker, Qi Liu, Bradley J. Undem: ATP release and metabolism by human and guinea-pig airways and P2X receptor dependent effects on bronchopulmonary vagal afferent nerve subtypes. *Br J Pharmacol* 183(5):1071-1084. doi: 10.1111/bph.70238. 2026.
- 4) William Poncin, Simple Futarmal Kothari, Jin Magara, Makoto Inoue, Eduardo Castrillon, Mohit Kothari: Can recordings of tongue motor-evoked potentials be improved? Comparison of two electrode types and their reliability. *J Oral Rehabil* 53(2):439-447. doi: 10.1111/joor.70098. 2026.
- 5) Chisato Aizawa, Reiko Ita, Yuto Ochiai, Anna Sasa, Namon Phetnin, Yoko Kawana, Kazuhiro Ono, Natsuka Takada, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Effect of hyposalivation on fish cake mastication in healthy individuals. *Food Science & Nutrition* 14(1):e71378. doi: 10.1002/fsn3.71378. 2026.
- 6) Hiroteru Kamimura, Hiroshi Suzuki, Azusa Sone, Makoto Miyazawa, Yuzo Kawata, Yuko Komoro, Yosuke Horii, Takanori Tsujimura, Hirohito Sone, Shuji Terai: Focal Hepatic Steatosis Mimicking a Hilar Tumor With Rapid Resolution After Glycemic Control: A Case Report. *Cureus* 18(1):e102666. doi: 10.7759/cureus.102666. 2026.
- 7) Kazuki Ikeura, Yuto Ochiai, Anna Sasa, Kazuhiro Ono, Ryo Takei, Hideaki Washio, Hajime Takahashi, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of Hyposalivation on Masticatory Movements While Eating